

2025/03/15(土)

甲州高尾山・棚横手山(山梨100名山)

メンバー:L辻、福田(記録)、有賀、会員外1

3月の山梨には梅の満開を期待していたが、ちらほらだけで春の気配は薄い。

明治から、葡萄作りが始まったという勝沼の葡萄畑の坂道をくねくねと上り、その奥細い林道で大滝不動尊神社まで車で入る。駅から縦走すると2時間かかる一と。



神社への石段は、息切れするほど長くウェーブがかかり、ゆがんでいてこわい。歴史のあるりっぱな建物、周りの岩場、滝が氷瀑となり有名とのこと。今はほんの少しの塊を残している。



2月は立派な見応えのある氷瀑だった模様
沢山の人が見学に訪れていたとのこと。

【コースタイム】 曇り

07:10 大滝不動尊P

07:20 神洗滝

07:40 展望台

08:45 棚横手山

09:10 大滝山

10:15 富士見台

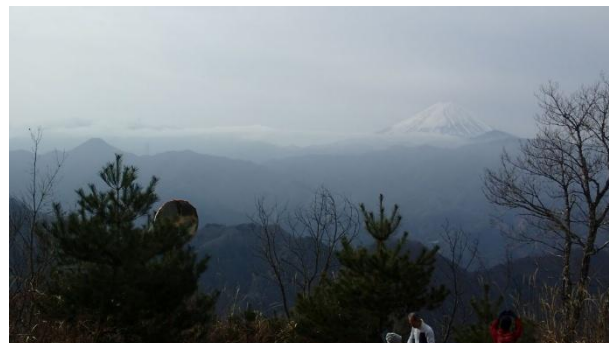
10:55 甲州高尾山東峰 大休憩 11:20

11:25 甲州高尾山西峰

12:25 神洗滝

12:35 大滝不動尊P

尾根に上ると、10何年？か前に山火事にあった山域とのことで、焦げた木が残り、幼木が育っている場所もある。大船渡のこともあり、山火事のこと、山での火器の使い方など話しながら、アップダウンの尾根歩き。



富士山はもやっているが、一日付き合ってくれた。棚横手山、大滝山と周り甲州高尾山へ。この間、単独縦走者と会うのみ。



表札新しい！可愛いらしいね

◀蚕の檀（まゆ）

緑色のきれいな糸が採れる

歩きやすい縦走路でよかったが、下りは北側斜面がぐずれやすく、大木が山いっせいに倒れ、道をふさがりまくるので、さながら障害物競走の様相だ。山の怖さを知るコースだった。

神社の石段は、手すりをしっかりつかんで下りる。

下山後、つい30年前まで使っていた大日影トンネルを勝沼ぶどう郷駅から往復3キロ歩き、ワインの貯蔵庫「勝沼トンネルワインカーヴ」旧深沢トンネルを覗く。

小淵沢でチェーン規制のため渋滞、茅野の車に5センチほどの雪！ラッキーといえる山行だった。

（記録 福田）

【大日影トンネル遊歩道】明治時代の廃線トンネルを歩く

2016年(平成28年)4月から閉鎖⇒クラウドファンディングにより対策を施し2024年3月から公開再開。線路の両側が舗装され遊歩道となっている。

上り方面(東京方面)に湧水を流すための水路が330メートルにわたり設置されています。煉瓦の積み方はイギリス積みという長い面(長手)と短い面(小口)を一段づつ並べていく方法を取っています。フランス積みよりも強固である利点があるそうです。



勝沼トンネルワインカーヴ(旧深沢トンネル入口)
(ワイン貯蔵庫)
自由に見学できます(9時~16時)

オーナー様のワイン貯蔵中▶



勝沼ぶどう郷駅は、甲州街道の勝沼宿からは大きく外れた山の上にあります。

駅は勾配の途中に作られたため、停車する列車はスイッチバックして引き込み線に入って水平を確保する方式をとっていました。その後、1968年(昭和43年)に複線化を機にスイッチバックを廃止して勾配上のホームに発着する現在の構造になりました。1993年(平成5年)、勝沼ぶどう郷に駅名を改称しています。

笹子トンネルからの高低差が大きく急勾配を避けるという地形上の制約から線路は塩山駅へ向かい大きく迂回しています。その途中の菱山地区に駅が設けられました。

壁に黒や灰色した煤が壁面に不着しています。1931年(昭和6年)に甲府までの電化工事が完了するまで走っていた蒸気機関車の排煙によるものです。笹子トンネル内で排煙による運転士の窒息事故があったため、甲府までの電化は急務で昭和の初期に完成しています。甲府から先の電化は太平洋戦争後になります。

天井の補修

トンネル内の天井は帯のように色が変わり一直線に伸びています。これは煉瓦の剥落を防止するためにトンネル内の天井全体にわたってガラスクロス付き連続繊維 FRP 格子筋(トウメッシュ)を張り付けたものです。トウメッシュ工法といいます。この費用に2億6000万円かかっています。照明の変更、防犯カメラの設置などの更新と併せて、総工費3億4600万円かかったようです。

※参考資料 あずさ@訪問記より抜粋

編集 辻